

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各課程別学生受入方針の明示	→アドミッション・ポリシーの確立(2012年度入学試験募集に間に合わせる)	B	B	A	A	A
2. 毎年、収容定員充足率を100%にする	→収容定員充足率	C	C	B	B	B
						☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか アドミッション・ポリシーを入試要項、ホームページにおいて明示する。 ☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 受験生に対して学生受け入れ方針を明示することができた。一例として、大学院進学説明会で社会学研究科について説明を行なう際に、学生受け入れ方針を明確に提示することができた。また、研究科教員の間でも学生受け入れ方針についての認識をあらため共有することができた。 ☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、アドミッション・ポリシーの公開に努めるとともに、その内容について随時点検する。 ☆
		その他 ☆

目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学院進学説明会をはじめとする入試広報活動の展開や学部学生へのゼミ指導などを通して、研究科への進学者増につとめる。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か	
		収容定員に対する在籍学生数比率については、前期課程が100パーセントをやや上回り、後期課程が100パーセントをやや下回った。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か	
		後期課程への進学者の増加をめざす。とくに、前期課程学生への研究指導やGSSP(大学院生サポートプログラム)の展開の中で、学生の適性をふまえた後期課程への進学指導を実施する。	☆
		その他	
			☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【社会学研究科】		前期/後期課程	単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	前期課程	名	12	12	12	12	12	・5/1現在
		後期課程		4	4	4	4	4	
指標2	志願者総数	前期課程	人	19	16	22	21	19	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		6	3	6	1	3	
指標3	合格者数	前期課程	名	6	7	15	14	11	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		6	3	6	0	3	
指標4	入学者数	前期課程	名	6	6	13	13	10	・当年度は5/1現在 ・前年度以前は秋学期入学を含める
		後期課程		5	3	6	0	2	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍	1.6	1.3	1.8	1.8	1.6	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程		1.5	0.8	1.5	0.3	0.8	
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	前期課程	倍	0.69	0.67	0.70	0.77	0.80	
		後期課程		0.93	0.93	1.05	1.00	0.80	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	83.3%	66.7%	0.0%	61.5%	60.0%	・5/1現在 ・一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		60.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
指標8	収容定員	前期課程	名	24	24	24	24	24	・5/1現在
		後期課程		12	12	12	12	12	
指標9	在籍学生数	前期課程	名	17	14	20	28	26	・5/1現在
		後期課程		12	13	13	10	8	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%	70.8%	58.3%	83.3%	116.7%	108.3%	・5/1現在
		後期課程		100.0%	108.3%	108.3%	83.3%	66.7%	